

登録コード	L1341000	開講年度	2026				
担当教員	木村 宏人			副担当			
授業科目	文化情報論発展演習Ⅷ						
英文授業名	Cultural Informatics: Advanced Seminar Ⅷ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限
講義室	人文213演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	スポーツと社会の関係に関する専門知識を身に付け、活用することができる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	発表や議論を通じて知識や思考を他者と共有することができる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	スポーツを通じた社会統合および社会的対立に関する社会学分野の専門書を精緻に読む。情報にかかわる象徴儀礼やメディアの果たす役割も踏まえながら、文化としてのスポーツと社会のつながりを考える。受講生は担当を決めてレジュメを作成して報告する。						
授業計画	1 ガイダンス 2 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（1, 2章） 3 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（3, 4章） 4 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（5, 6章） 5 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（7, 8章） 6 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（9,10章） 7 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学』（11, 12章） 8 『セルティック・ファンダム』（1章） 9 『セルティック・ファンダム』（2章） 10 『セルティック・ファンダム』（3章） 11 『セルティック・ファンダム』（4章） 12 『セルティック・ファンダム』（5章） 13 『セルティック・ファンダム』（6章） 14 『セルティック・ファンダム』（7章） 15 まとめ、授業アンケート						
成績評価の方法	授業中の取り組み（50%）、課題：毎回の読書コメントと発表担当のレジュメ作成（50%）						
成績評価の基準	卓越している（90%以上）：複数の文献から得られた専門知識を活用し、スポーツと社会の関係について独自の視点から考察し、他者と議論できる。 かなり上にある（80%以上90%未満）：複数の文献の内容を関連付けて理解し、他者と議論することができる。 やや上にある（70%以上80%未満）：文献の内容を批判的に吟味し、他者と議論することができる。 合格水準にある（60%以上70%未満）：文献の内容を正確に理解し、他者と共有することができる。						
事前事後学習の内容	十分な時間をかけて指定文献、論文を読んでくること。議論に参加すること。						
履修上の注意	シラバス執筆時点では未確定だが、調整がつけばスポーツの現場へ出向く実習を実施する。その場合文献講読のスケジュールは変更することがある。詳しくは初回授業時に通達する。						
質問、相談への対応	授業前後にお願いします。時間を要するものは別途対応しますので、事前にメールで連絡してください（メールアドレスは初回授業時に示します）。						
教科書	権学俊, 2021, 『スポーツとナショナリズムの歴史社会学：戦前=戦後日本における天皇制・身体・国民統合』ナカニシヤ出版. 小笠原博毅, 2017, 『セルティック・ファンダム：グラスゴーにおけるサッカー文化と人種』せりか書房.						
参考書	適宜指示する。						